

●将来ビジョン（案） 「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生し、人と人、人と地域が繋がるまち

●目指すべき将来像（案）

将来像1

子ども・若者から高齢者まで、
安心・安全に暮らし、
誰もが集い、交流し、
活力のあるまち

将来像2

京都の玄関口・京都駅及び
その周辺と東山の文化エリア
を結ぶ立地にふさわしい、
賑わいのあるまち

将来像3

京都はもとより、
国内、世界の文化芸術をつなぐ
拠点となるまち

●目指すべき将来像を実現するための方策（案）

文化を基軸としたまちづくり

- 【視点】 ①多様な価値観の形成、相互理解の促進や担い手育成、地域コミュニティの活性化など、地域共生社会の実現
②観光など、関連分野との連携による新たな魅力・価値の創出
③文化芸術の新たなシンボルゾーン創生による「文化首都・京都」の都市格向上の牽引

コミュニティ

【方策1】

多様な人が交流し、多様な価値観が
尊重される豊かな地域コミュニティ
の実現

賑わい

【方策2】

京都駅と東山の文化エリアを結ぶ立
地特性を活かした新たな賑わいの誘導

ひとづくり 環境整備

【方策3】

教育、研究、交流による「ひとづ
くり」をはじめとする、文化芸術を
創造・発展させ、次世代に継承する
ための環境整備

●キーワード

- ・新旧住民、多世代の交流
- ・地域コミュニティの活性化、まちづくり
- ・若い世代の流入と若者に向けたまちづくり活動の情報発信
- ・エリアマネジメント
- ・空き家の活用
- ・安心・安全な歩行環境
- ・高齢化の進展、人口増加のポテンシャル
- ・地域資源や自然環境
- ・文化芸術活動の場の創出（高瀬川など河川、道路の活用）
- ・文化芸術教育の充実
- ・地域の歴史、文化の記録・保存
- ・大学の地域連携
- ・生活利便施設の必要性 など

- ・京都の玄関口・京都駅
- ・東山の文化エリアへと続く立地
- ・賑わいの創出
- ・回遊性・モビリティの向上
- ・神社仏閣等の活用
- ・商店街を活かしたまちづくり
- ・若手芸術家への支援
- ・未活用市有地の活用
- ・インバウンド（外国人観光客）の存在
- ・観光客の滞留と情報の発信
- ・京都駅東南部エリア、西部エリアとの連携
- ・京町家の活用
- ・イノベーションの創出 など

- ・文化・芸術が集積するポテンシャル
- ・世界との交流、世界に向けた発信
- ・京都市立芸術大学、京都美術工芸大学の存在
- ・学生、若手芸術家、クリエイターの存在
- ・伝統産業製品の制作体験
- ・公共空間の活用
- ・担い手の育成
- ・国際交流の促進
- ・研究、創造活動と発表の場の創出
- ・博物館、美術館の機能の充実
- ・都市景観の向上
- ・文化庁との連携 など

●推進項目

● ● ● ●

● ● ● ●

● ● ● ●